

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号 3階 電話 (098) 869-8711  
2023年3月30日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第91回おきぎん企業動向調査」  
(2023年1-3月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：新垣

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

# 第 91 回おきぎん企業動向調査（2023 年 1-3 月期）調査結果

～県内（地域・業種別）の経営環境と業況感～

## I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断(当期実績、来期見通し)を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】2023 年 2 月中旬～3 月中旬  
 【調査対象】県内企業 492 社回答  
 【調査内容】①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要

### —おきぎんDIとは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用。

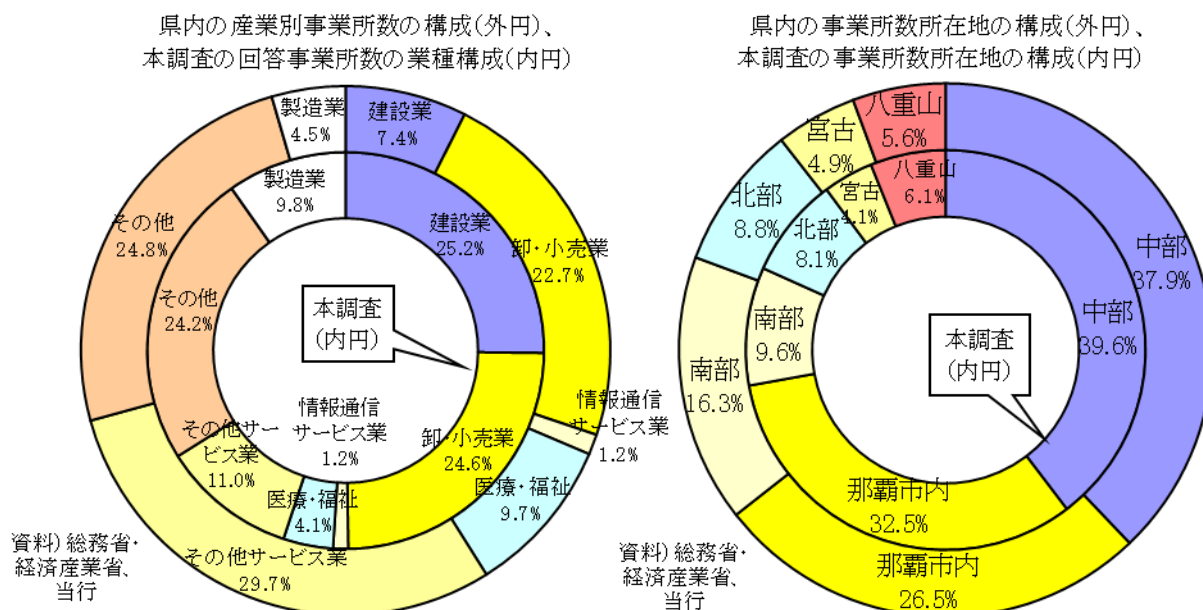
①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)、と捉えます。

### ➤ 調査対象企業の業種・所在地構成

本調査の業種構成を県内事業所データ(令和3年経済センサス活動調査 速報)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】はサンプリング数が多く、【その他サービス業(宿泊、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育など)】はサンプリング数が少なくなっています。また、所在地構成では、中部と那覇市内の合計が全体の7割以上を占めています。



## II. 調査結果（総論）

- 当期の業況DIは48.0(前年同期比)となり、6期連続でプラスとなりました。来期の業況見通しDIは38.0(当期比)となり、引き続き業況改善の動きが見込まれます。業況DI実績の推移について、全体としてはコロナウイルスの影響が和らぐもと、上昇トレンドで推移しています。

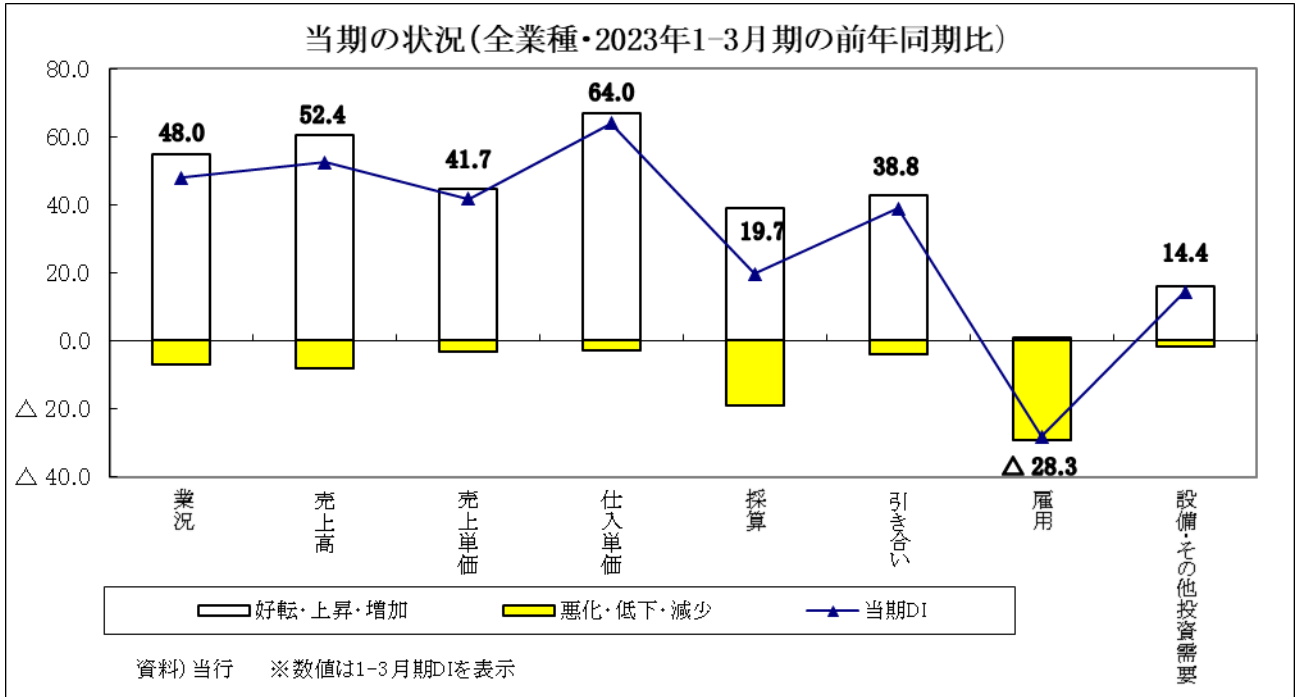
【業況DIの推移】	2022年				2023年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期見通し
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種</b>	<b>1.6</b>	<b>23.9</b>	<b>33.8</b>	<b>43.8</b>	<b>48.0</b>	<b>38.0</b>
製造業	△ 15.6	14.6	51.0	51.9	35.4	43.8
土木業	9.5	△ 13.3	4.0	28.0	14.3	19.0
建築業	3.3	△ 1.0	29.8	29.5	43.7	28.2
卸売業	△ 3.6	33.3	37.3	38.4	53.9	48.7
小売業	0.0	25.4	33.3	46.3	48.9	40.0
情報通信サービス業	25.0	30.8	16.7	55.6	66.7	33.3
医療・福祉	32.3	51.7	25.8	42.9	45.0	20.0
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 7.7	45.9	47.1	71.7	72.2	63.0
その他(不動産、運輸等)	6.0	25.2	30.6	43.6	47.1	31.9



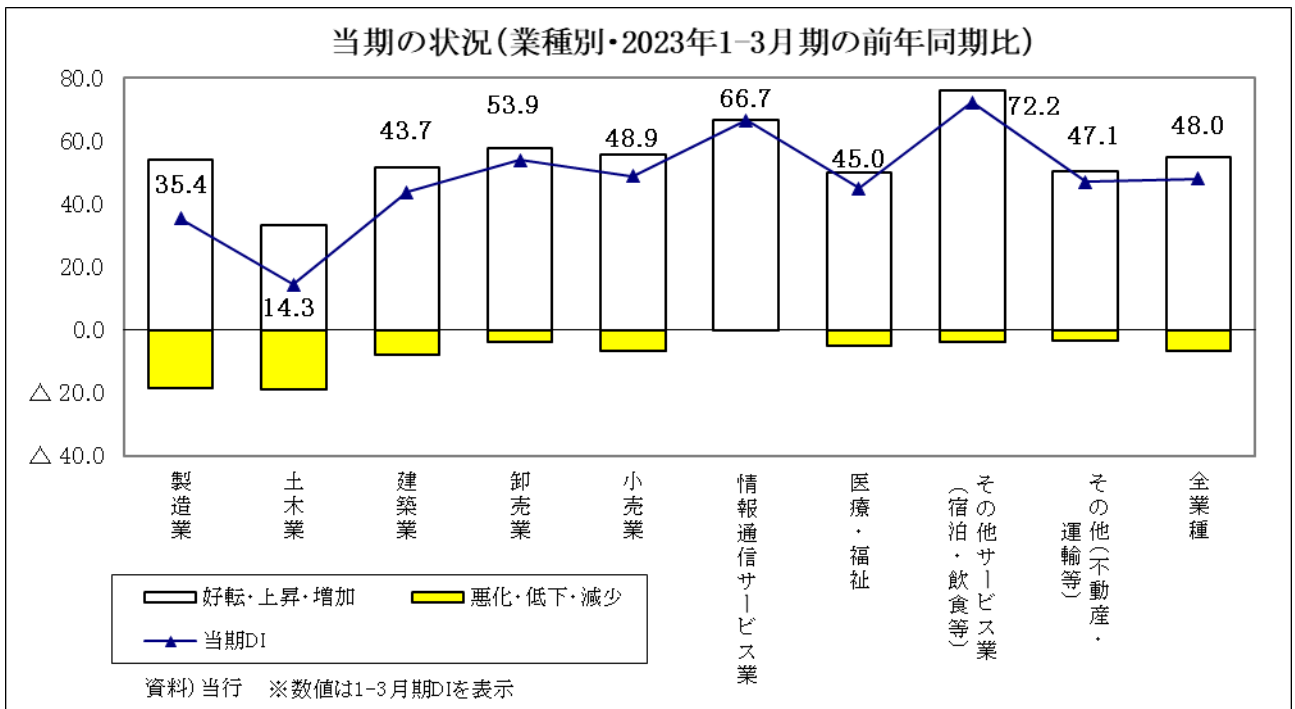
※「2023年4-6月期(見通し)」38.0については、今期(2023年1-3月期)との比較であり、前年同期との比較ではありません。このため折れ線グラフは連続していません。

## 1. 当期の状況（2023年1-3月期の前年同期比）

- ▶ 当期の業況DIは **48.0** となり、業況改善の動きがみられます。項目別では、売上高(52.4)や引き合い(38.8)などの項目でプラスとなりました。採算(19.7)においては、仕入単価(64.0)の上昇により悪化した事業者もみられ、ポイントは低くなっています。雇用(△28.3)は全業種でマイナスとなっており、不足感がみられます。

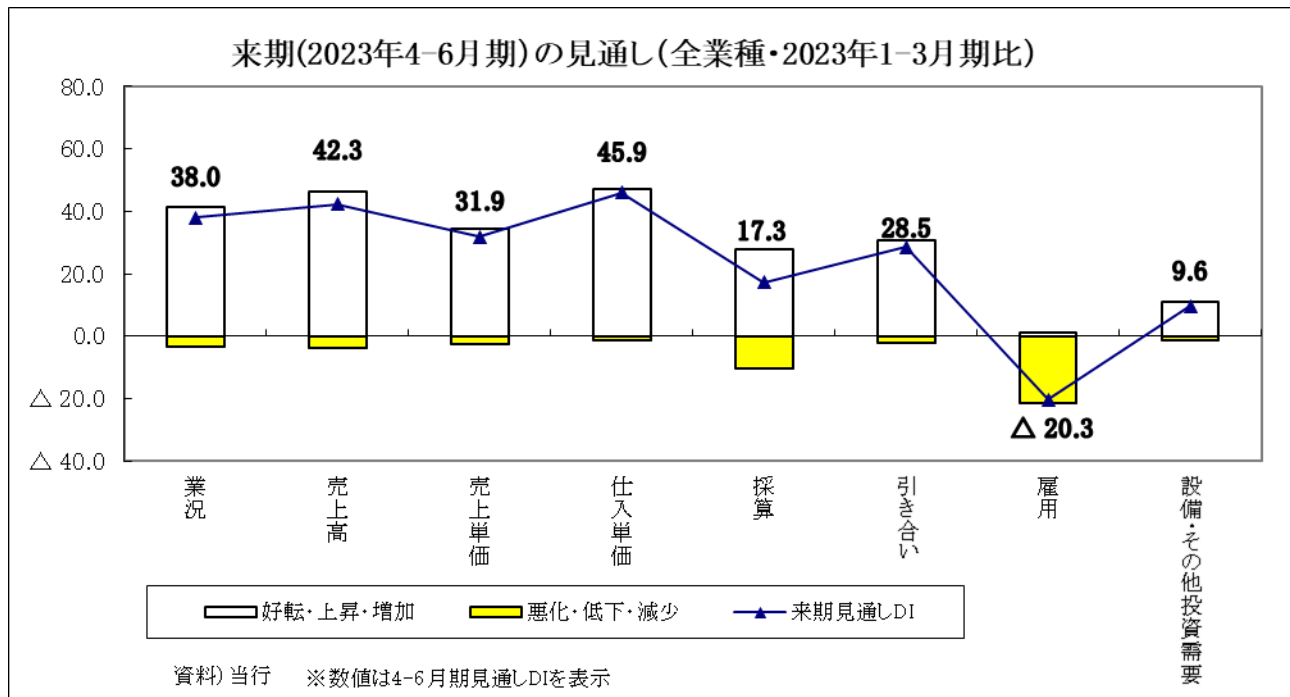


- ▶ 業種別では、観光客の戻りを含めた人流回復などにより【**その他サービス業(宿泊・飲食等)**(72.2)】において大きくプラスとなっています。一方、【**土木業**(14.3)】は公共工事受注の落ち着きや仕入単価上昇、【**製造業**(35.4)】は仕入単価やエネルギーコストの上昇などからポイントが低くなっています。

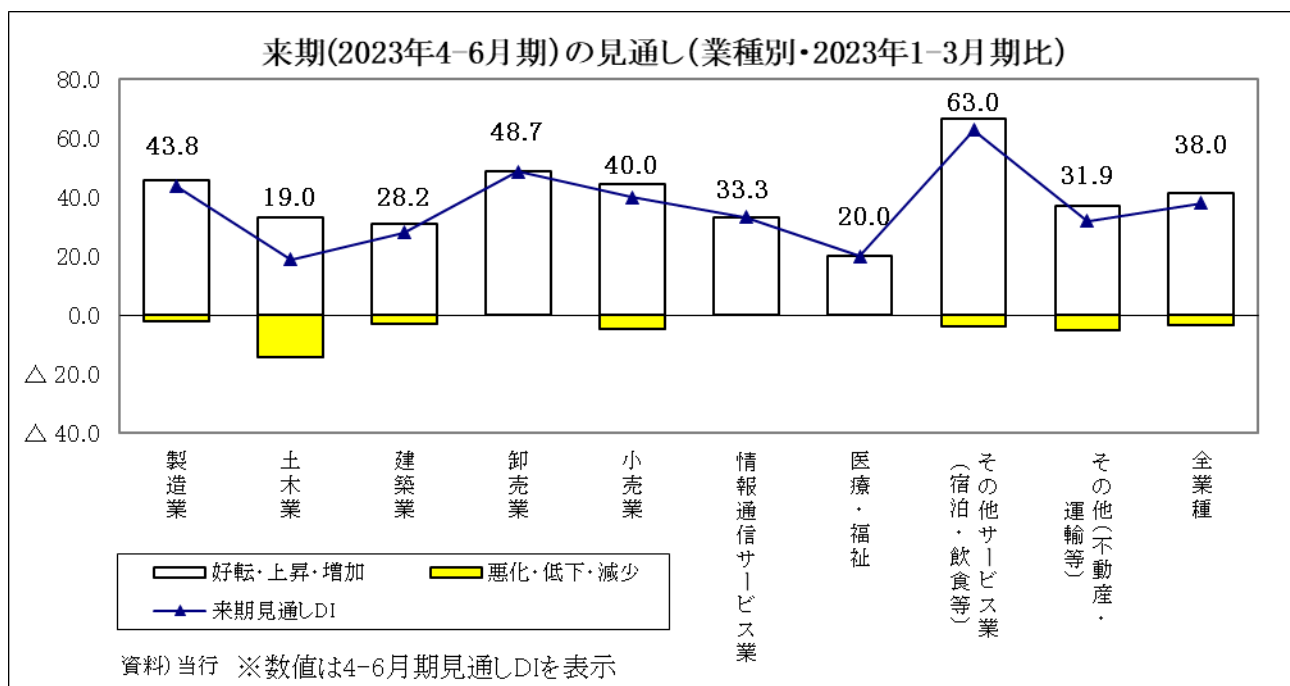


## 2. 来期の見通し（2023年4-6月期の当期比）

- 来期の見通し業況DIは**38.0**となり、引き続き業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動が正常化に向かう期待感などから売上高(42.3)、引き合い(28.5)などでポイントが高くなっています。一方、採算(17.3)は仕入単価(45.9)の上昇懸念から悪化を見込む事業者もみられます。雇用(△20.3)においては、不足感が続く見通しとなっています。

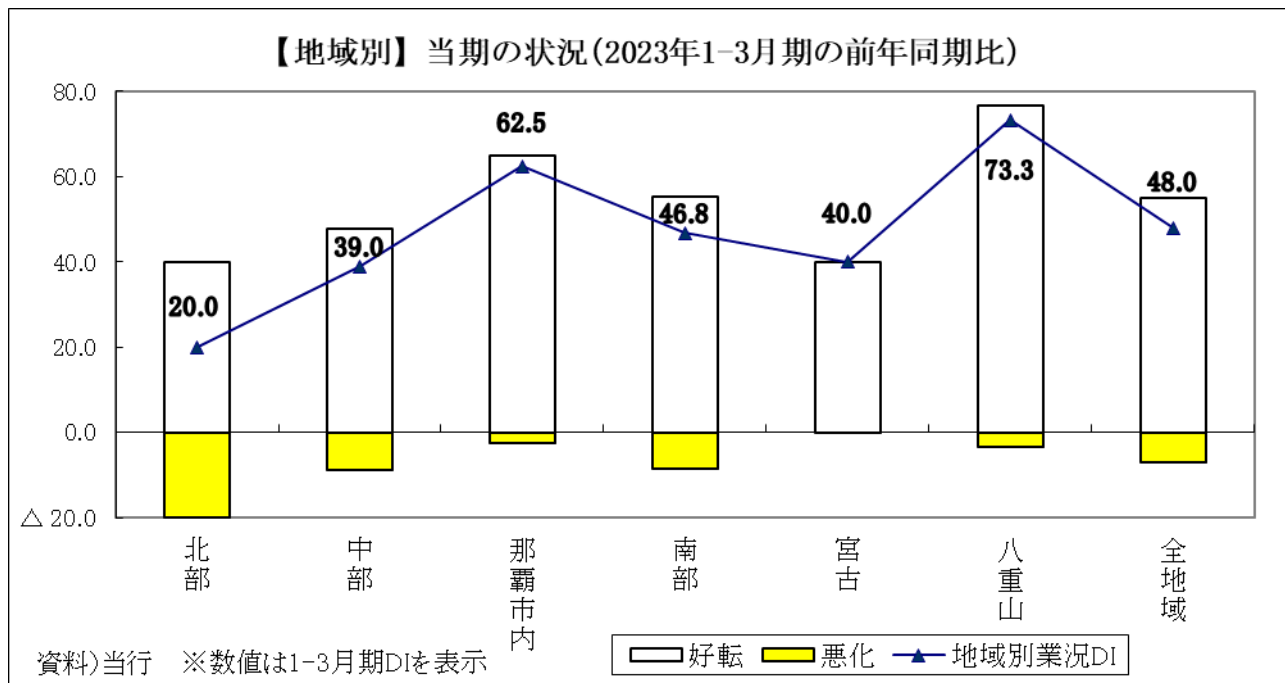


- 業種別では、全業種がプラスとなっています。【その他サービス業(宿泊・飲食等) (63.0)】は継続した観光客の増加や人流回復などから最もポイントが高くなっています。一方、【土木業(19.0)】は、公共工事受注の落ち着きや仕入単価上昇の懸念などから他業種と比較しポイントは低くなっています。

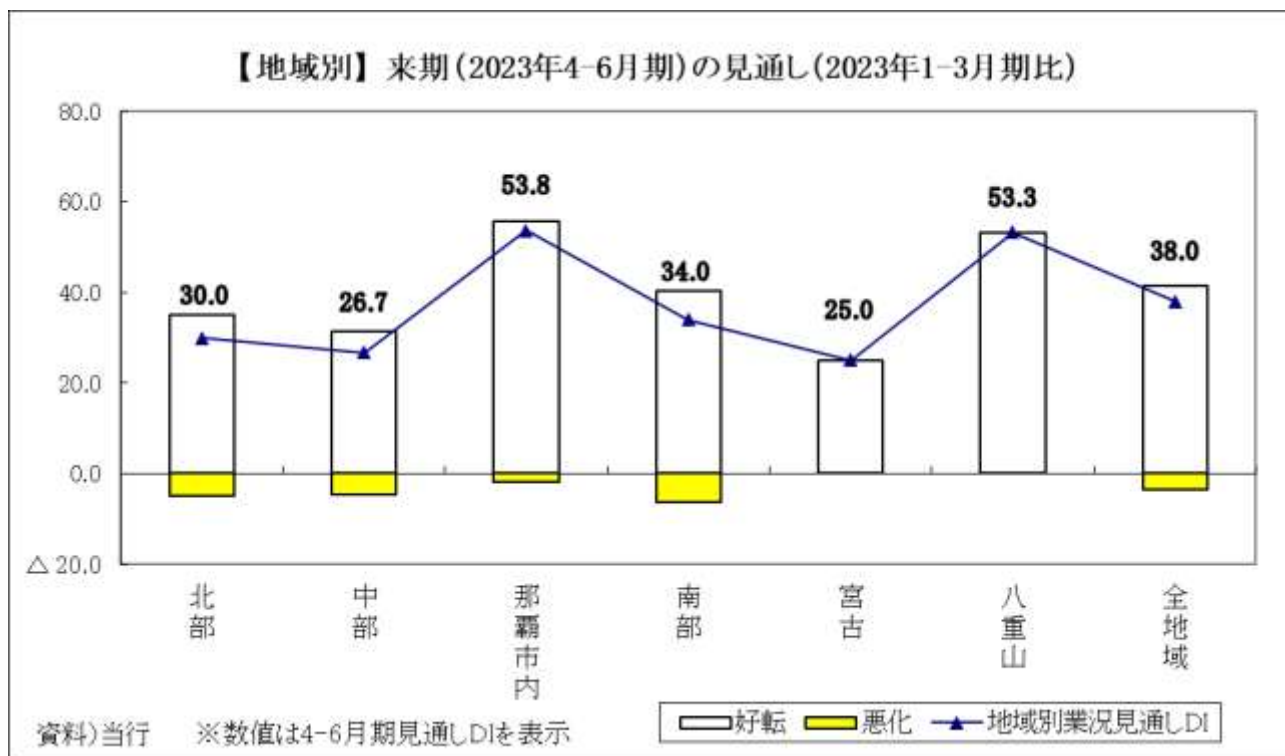


### 3. 地域別の業況DI

- 当期の地域別DI(前年同期比)は、八重山(73.3)や那覇市内(62.5)など、全地域において業況の改善がみられます。八重山(73.3)は観光客の増加や建設需要の増加などから、業況の改善がみられます。一方、北部(20.0)は一部に業況悪化した事業者がみられ、ポイントは低くなっています。



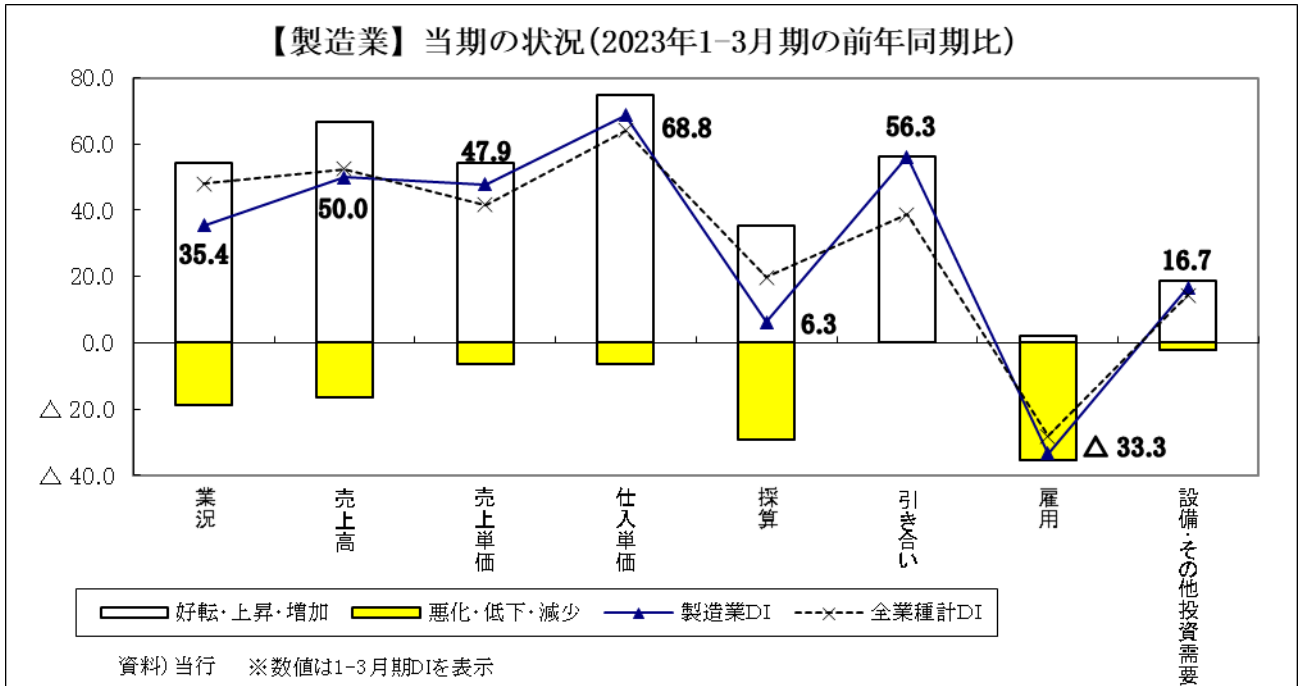
- 来期の地域別見通し業況DI(当期比)は、コロナウイルスの影響が和らぐもと、経済活動が活発化する期待感などから那覇市内(53.8)や八重山(53.3)など全地域でプラスとなっています。



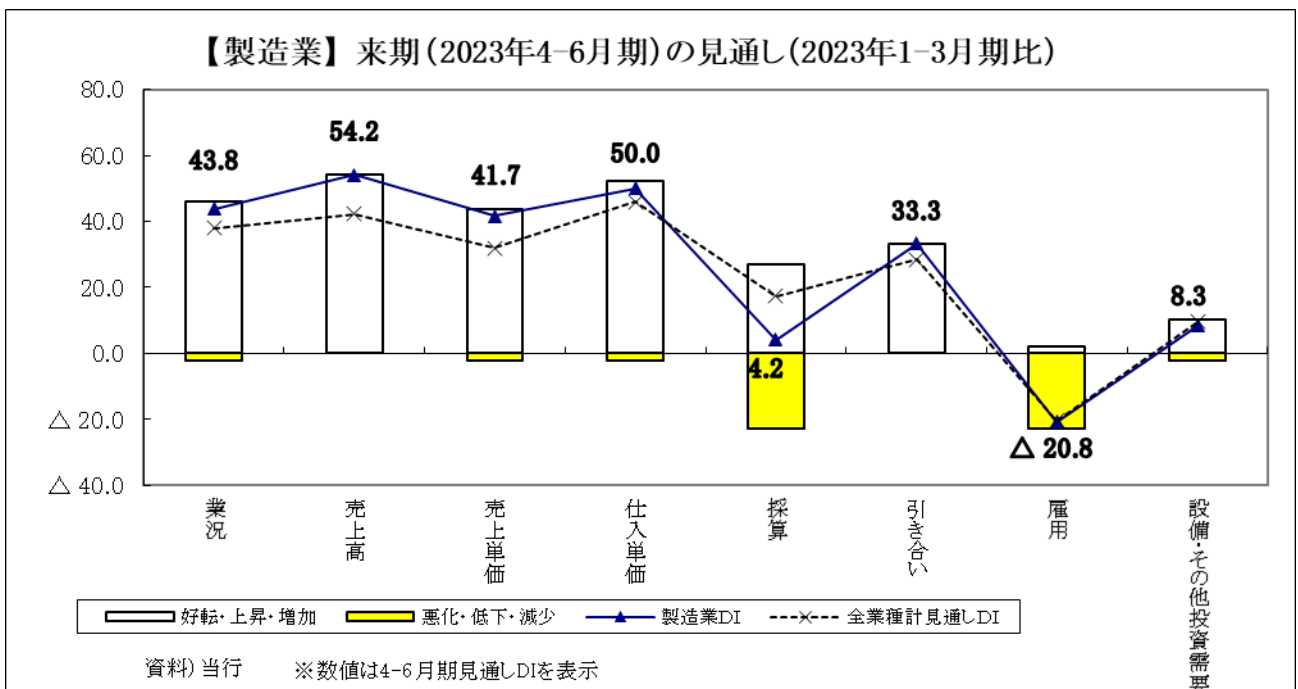
### Ⅲ. 調査結果（各論）

#### 1. 製造業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は **35.4** となりました。観光客を含めた人流活発化の影響により食料品製造業を中心に業況改善がみられます。一方、仕入単価(68.8)のポイントは高く採算(6.3)は低くなっており、価格転嫁が十分ではない事業者がみられます。雇用(△33.3)はマイナスとなっており、ポイントも他業種と比較し低くなっています。一部、募集しても応募がない事業者がみられます。



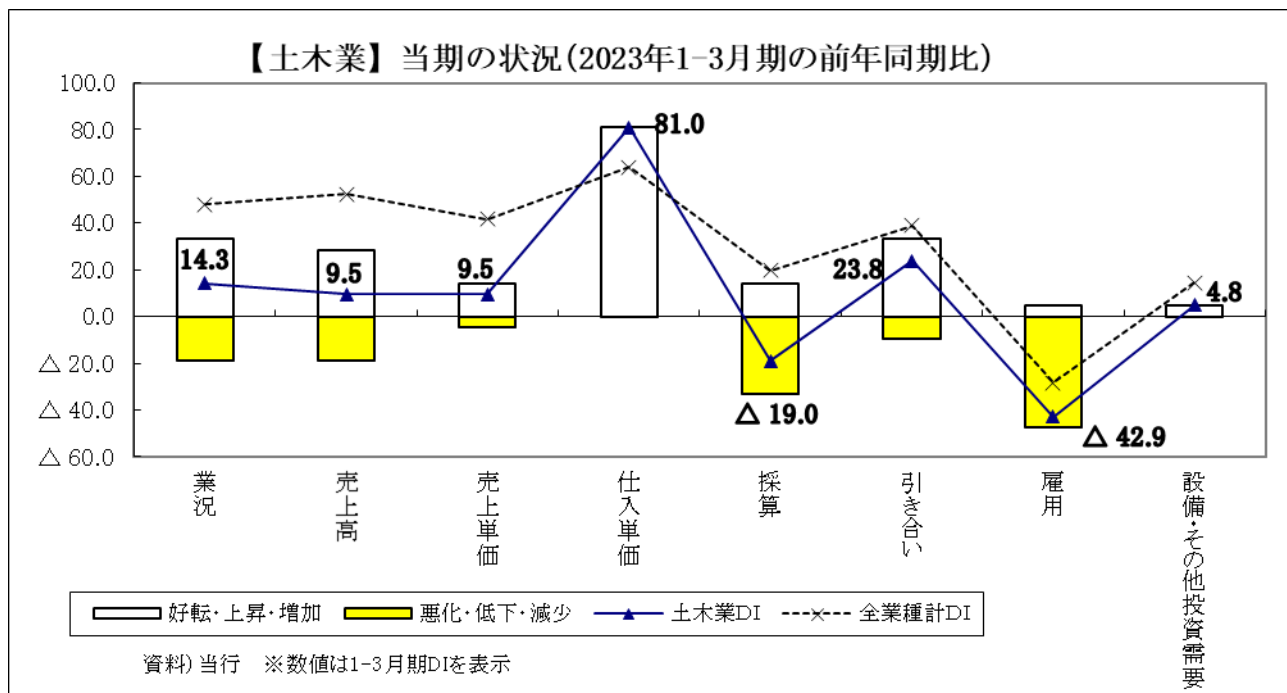
- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は **43.8** となりました。コロナウイルスの影響緩和などから、食料品製造業を中心に、業況改善の動きが見込まれます。一方、採算(4.2)においては、仕入価格やエネルギーコスト等の上昇を懸念する事業者がみられ、ポイントは低くなっています。



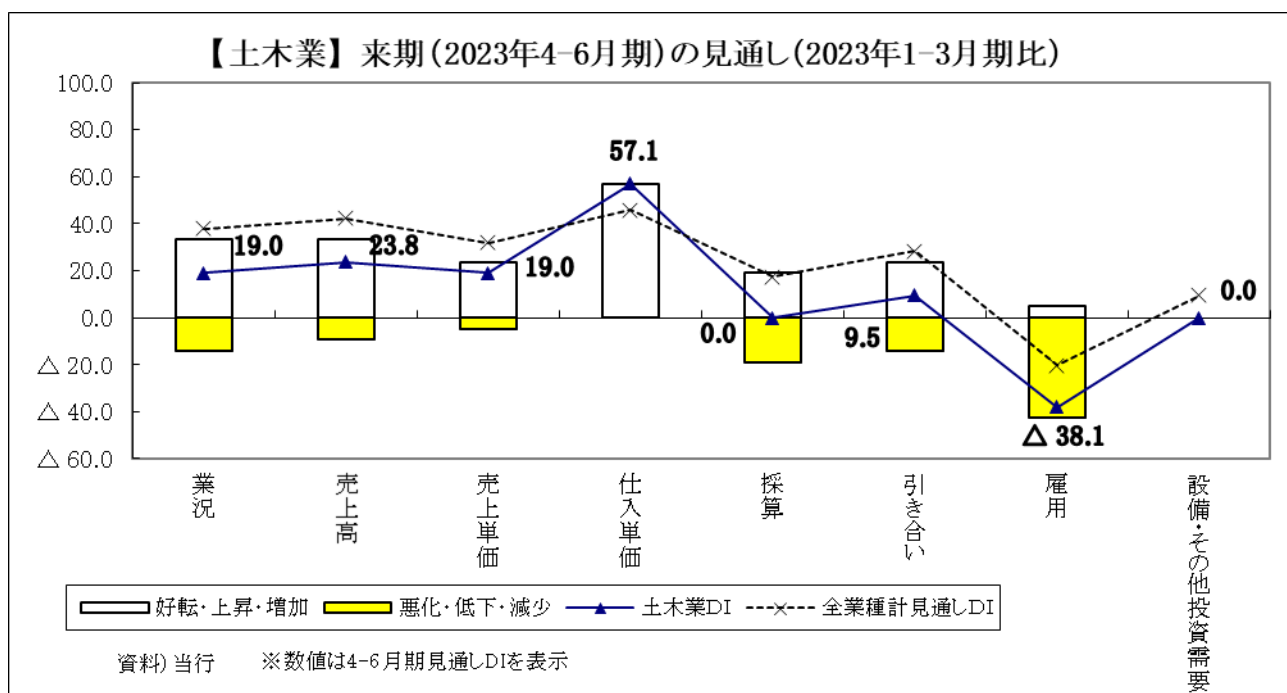


## 2. 土木業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は 14.3 となり、安定した公共工事受注による業況改善がみられます。採算(△19.0)においては、仕入単価(81.0)が大きく上昇している一方、売上単価(9.5)は低く十分に工事金額へ転嫁できていない事業者がみられます。雇用(△42.9)は大きくマイナスとなっており、慢性的な不足感が続いています。



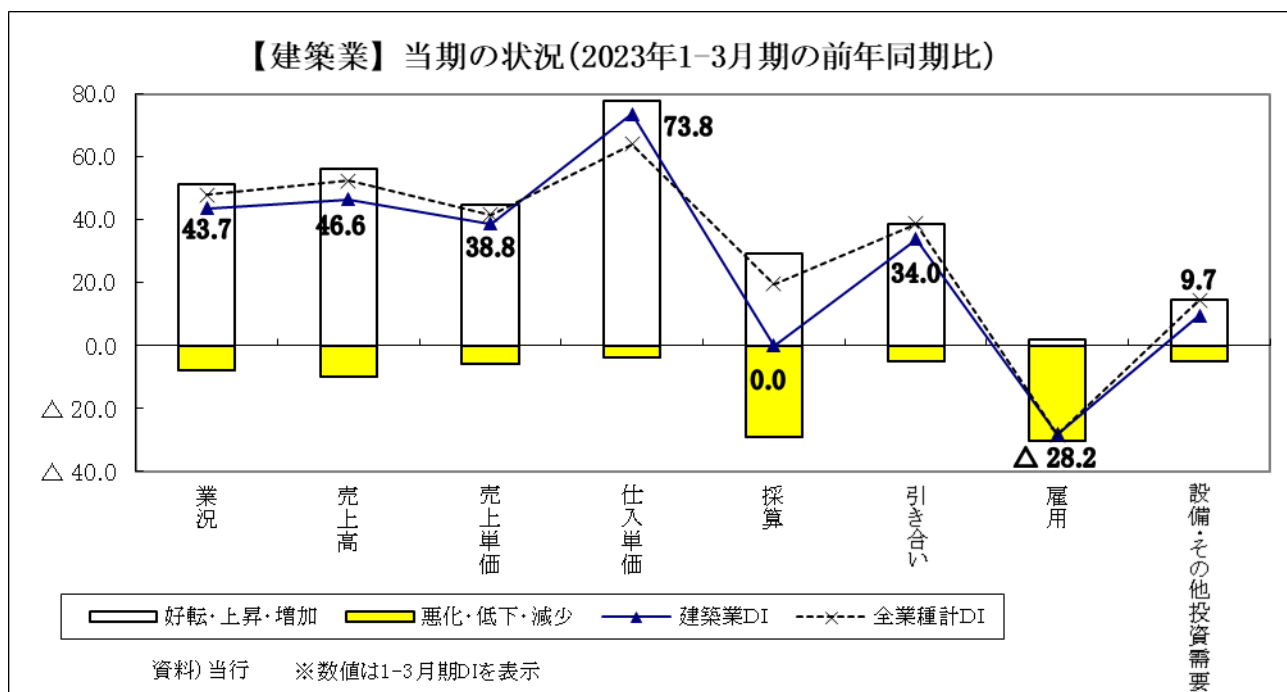
- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 19.0 となり、業況改善の動きが見込まれます。採算(0.0)においては、資材やエネルギーコストの上昇を懸念する事業者がみられます。雇用(△38.1)は他業種と比較しポイントは低くなっており、不足感が続く見通しとなっています。



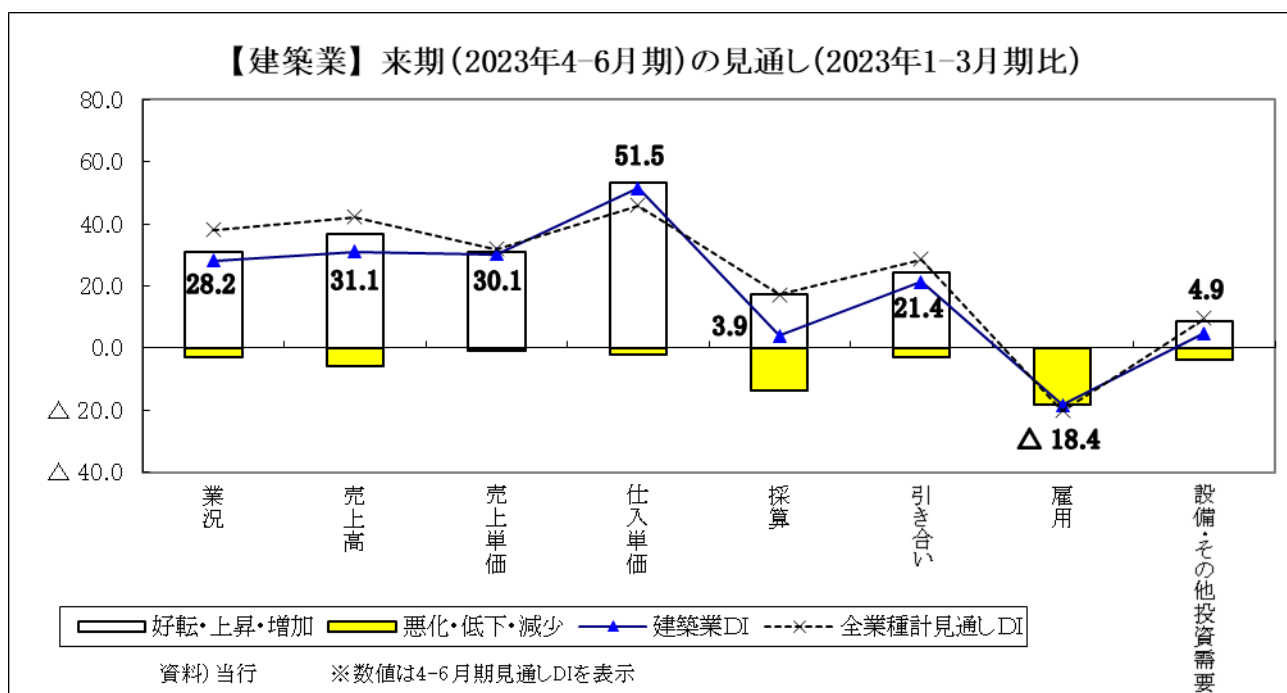


### 3. 建築業

- 当期の業況 DI(前年同期比)は **43.7** となりました。コロナウイルスの影響緩和が和らぐもと、民間工事の受注などに改善がみられます。一方、仕入単価(73.8)と比較し売上単価(38.8)はポイントが低く、採算(0.0)は不変であることから、工事金額への転嫁が十分ではない事業者がみられます。雇用( $\Delta$ 28.2)はマイナスとなっており、不足感がみられます。

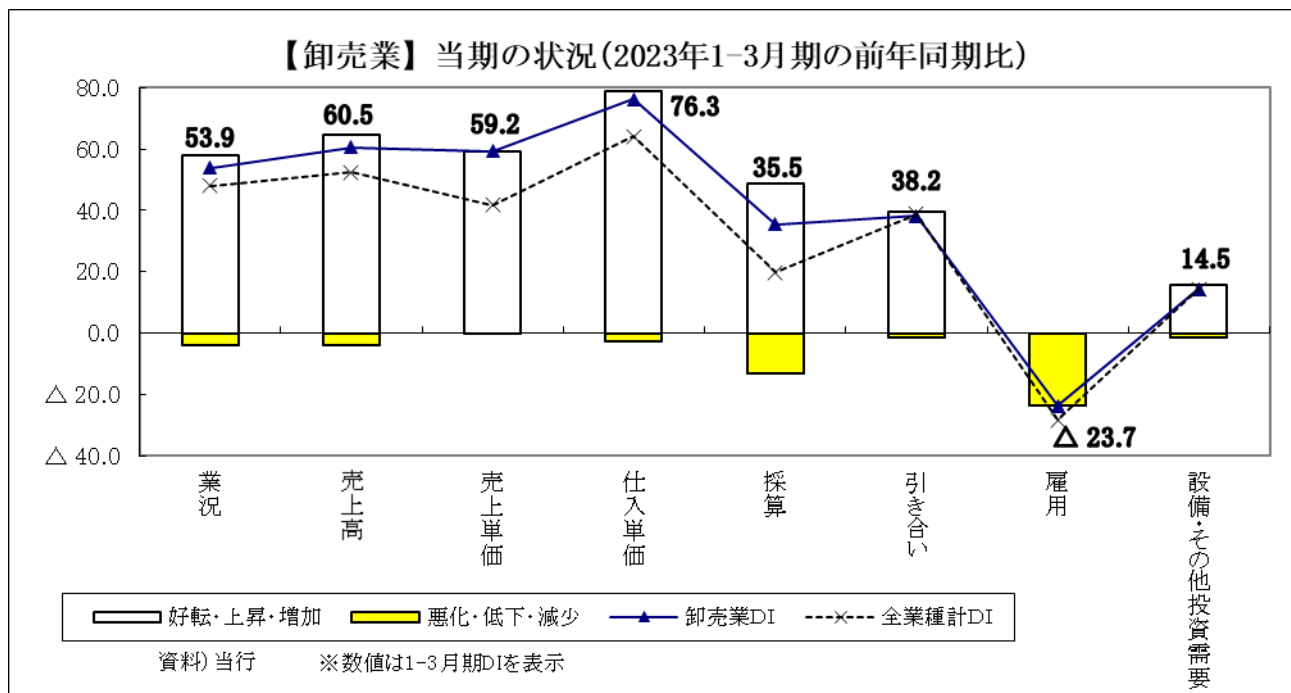


- 来期(2023年4-6月期)の見通し業況 DI(当期比)は公共・民間工事の需要増加などから **28.2** と、業況改善の動きが見込まれます。一方、採算(3.9)においては資材価格高騰を懸念する事業者がみられます。雇用( $\Delta$ 18.4)は、不足感が続く見通しとなっています。

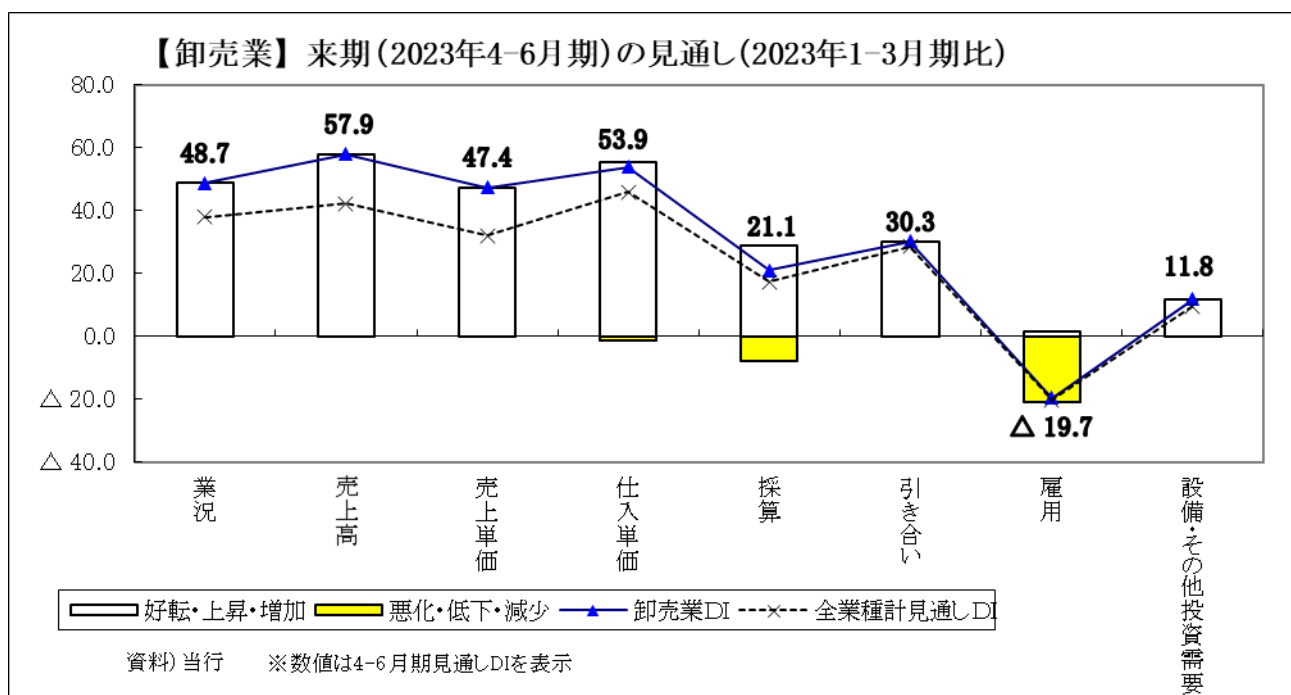


#### 4. 卸売業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は **53.9** となりました。観光客を含めた人流回復の影響によるホテルやスーパー、飲食店、土産品店などからの卸需要増加にて、業況改善がみられます。仕入単価(76.3)は大きく上昇しているものの、価格転嫁の進行や円安の落ち着きなどから、採算(35.5)は他業種と比較しポイントは高くなっています。雇用(△23.7)においては、マイナスとなっており不足感がみられます。

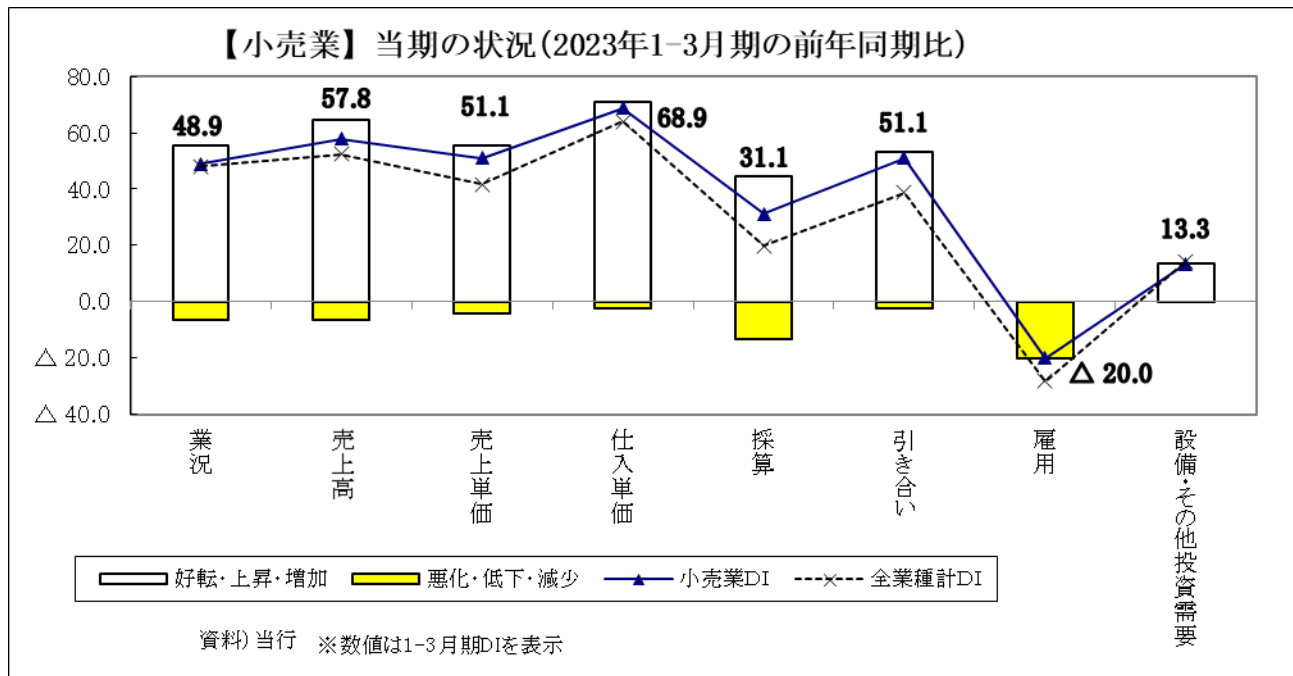


- ▶ 来期の見通し業況 DI (当期比)は **48.7** となりました。コロナウイルスの影響が和らぐもと、観光関連産業からの需要増加期待などにより、業況改善の動きが見込まれます。雇用(△19.7)は、不足感が続く見通しとなっています。

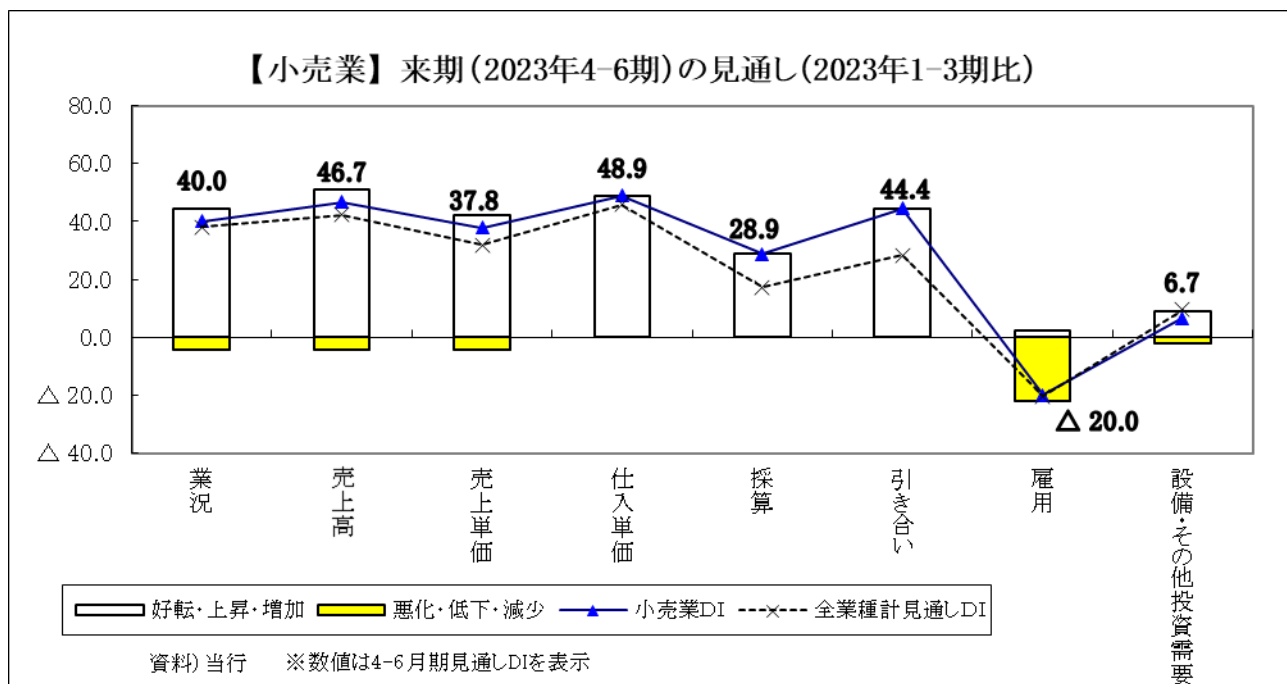


## 5. 小売業

- 当期の業況 DI(前年同期比)は **48.9** となりました。観光客を含めた人流回復の影響などにより、業況改善がみられます。仕入単価(68.9)は上昇しているものの価格転嫁が進んでおり、採算(31.1)は他業種と比較しポイントが高くなっています。

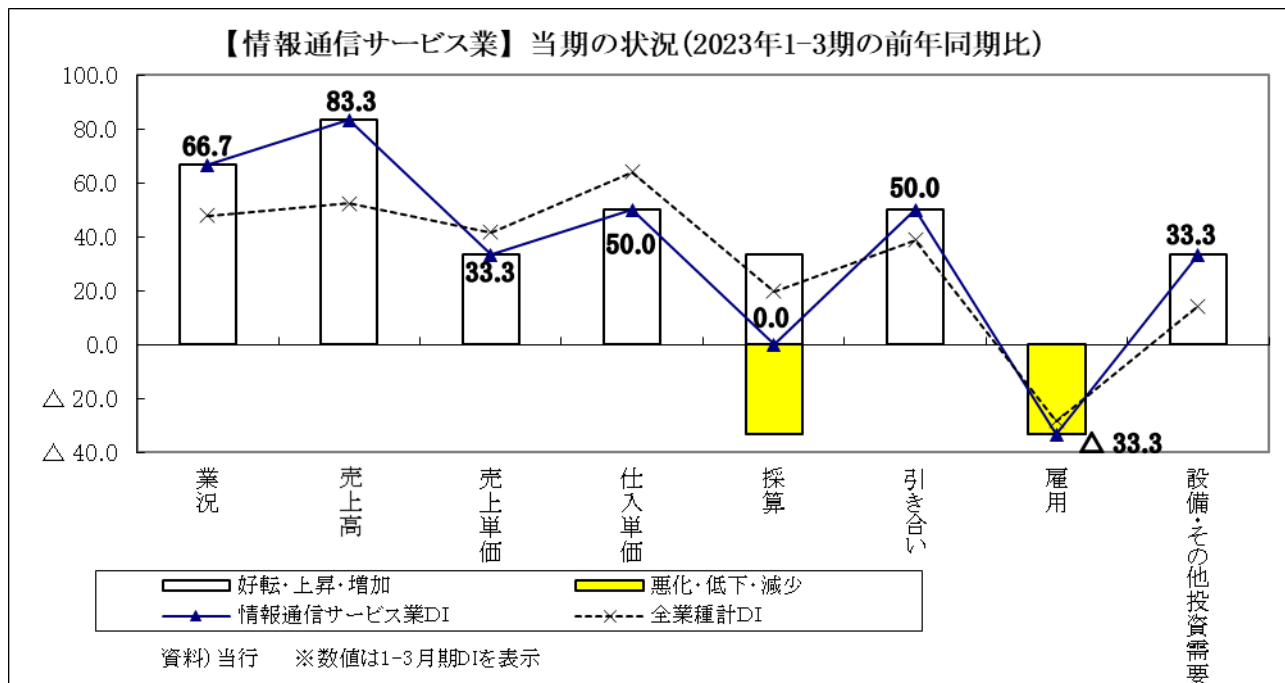


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は **40.0** となり、業況改善の動きが見込まれます。コロナウイルスの影響が和らぐもと、GW や夏前の観光客を含めた人流増加などから売上高(46.7)、採算(28.9)、引き合い(44.4)などでポイントが高くなっています。雇用(△20.0)は不足感が続く見通しとなっています。

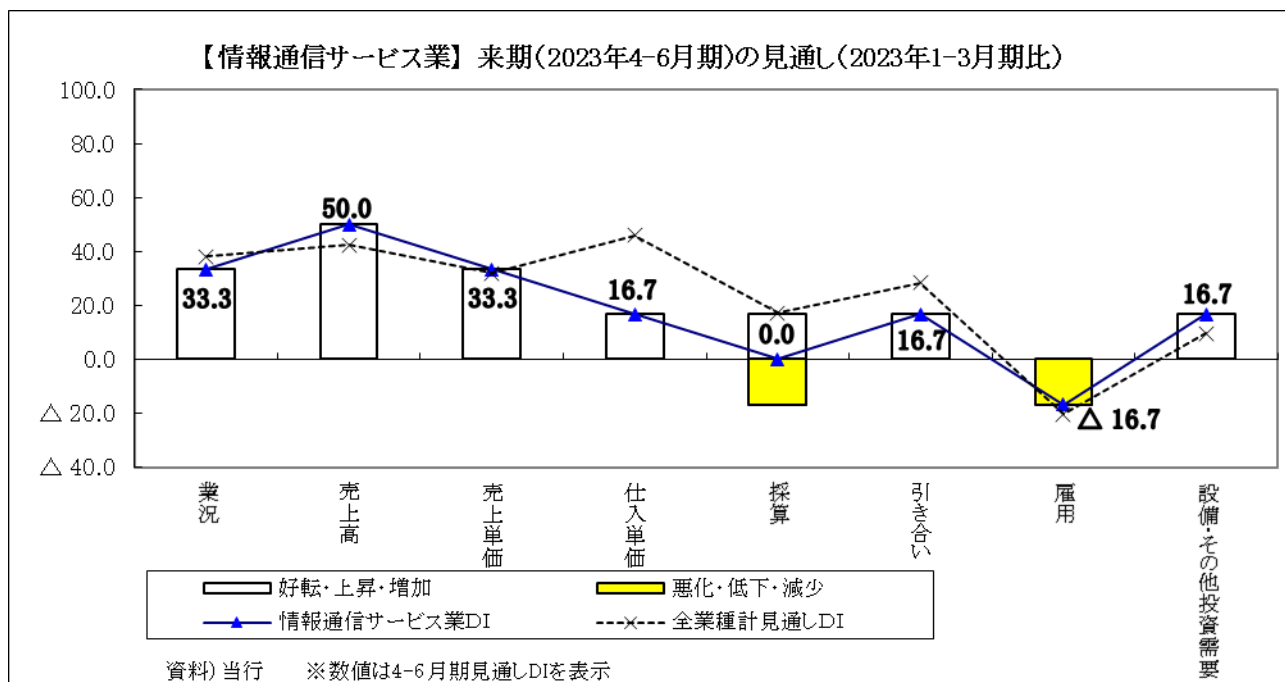


## 6. 情報通信サービス業

- 当期の業況 DI(前年同期比)は **66.7** となり、業況改善がみられます。イベント等再開に伴う広告関連需要増加などにより、売上高(83.3)、引き合い(50.0)などでプラスとなっています。雇用( $\Delta$ 33.3)は不足感がみられます。

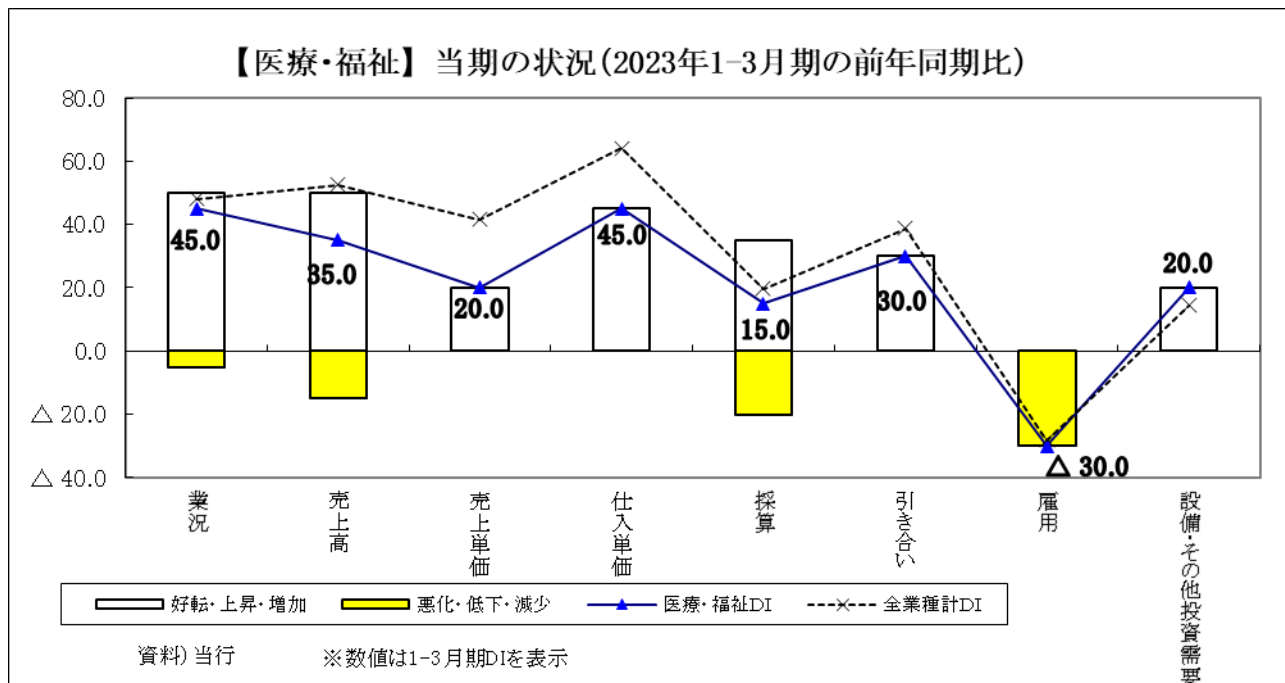


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は **33.3** となり、業況改善の動きが見込まれます。イベント等再開に伴う広告関連需要増加などにより、売上高(50.0)などでポイントが高くなっています。雇用( $\Delta$ 16.7)は不足感が続く見通しとなっています。

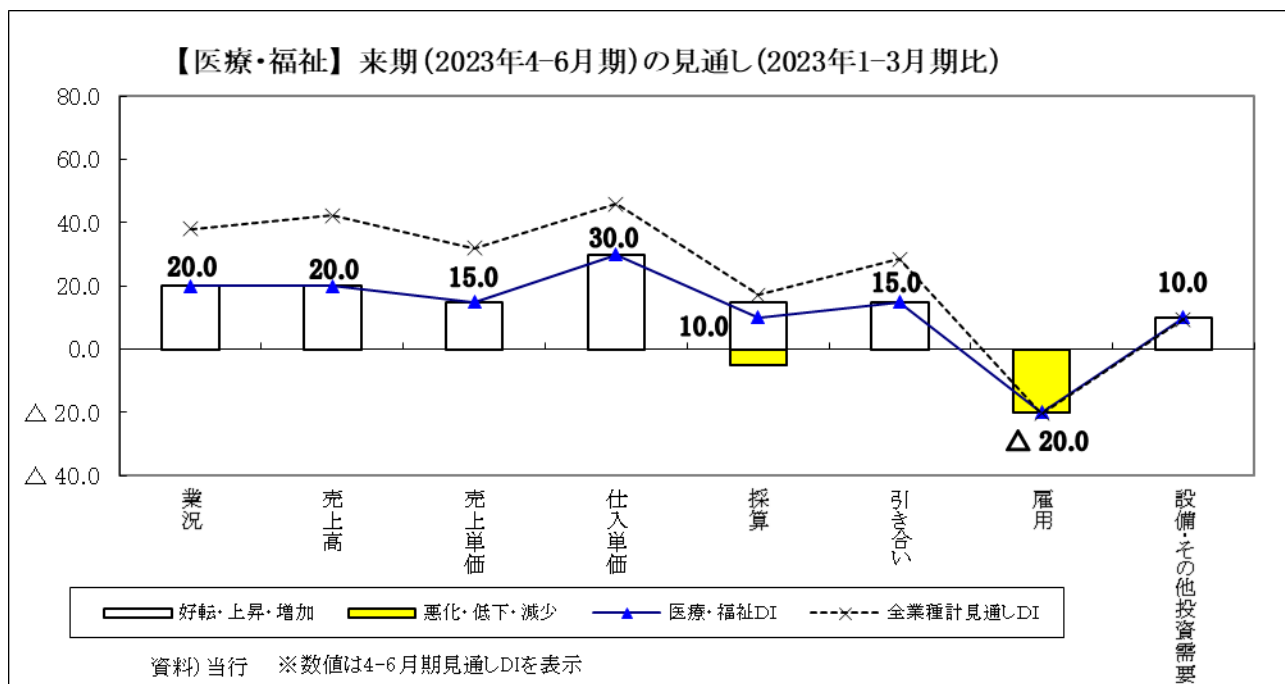


## 7. 医療・福祉

- 当期の業況 DI(前年同期比)は **45.0** となりました。安定した医療・介護需要などから業況改善の動きがみられます。一方、仕入単価(45.0)の上昇などにより採算(15.0)はポイントが低くなっています。雇用(△30.0)においては、慢性的な不足感がみられます。

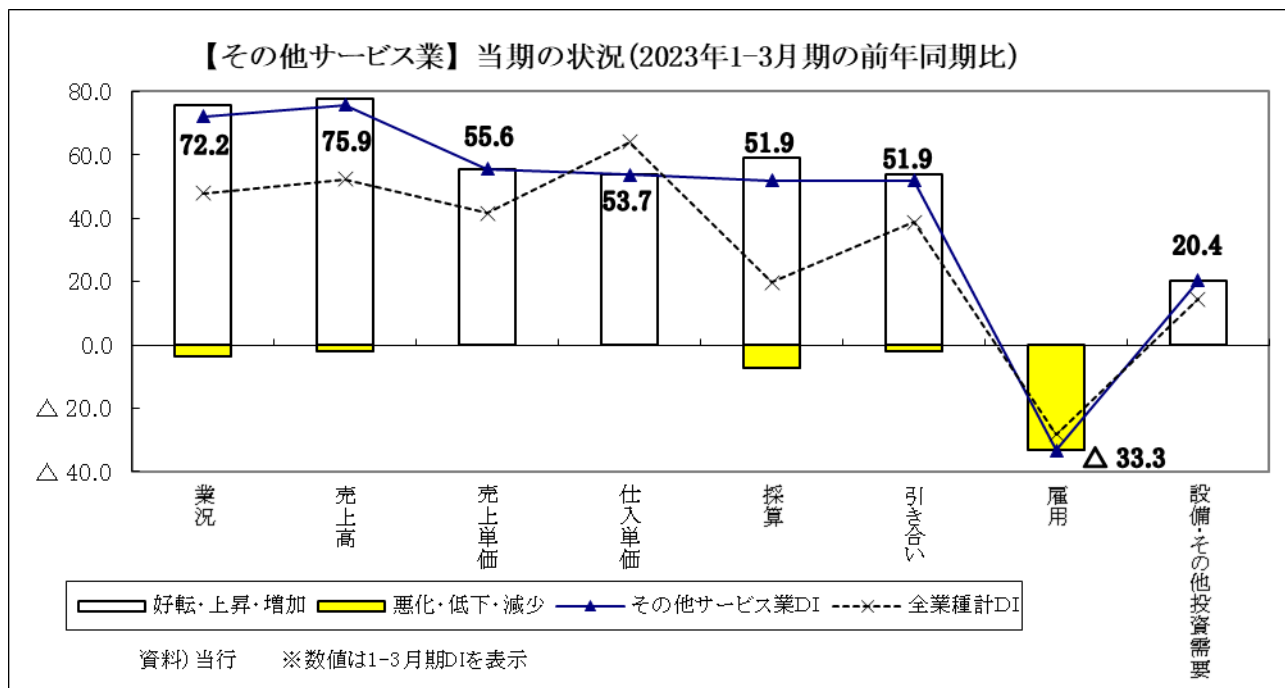


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は **20.0** となり、業況改善の動きが見込まれます。医療・介護需要は安定しており、現状維持の見通しなどから、他業種と比較しポイントが低くなっています。雇用(△20.0)は不足感が続く見通しとなっています。

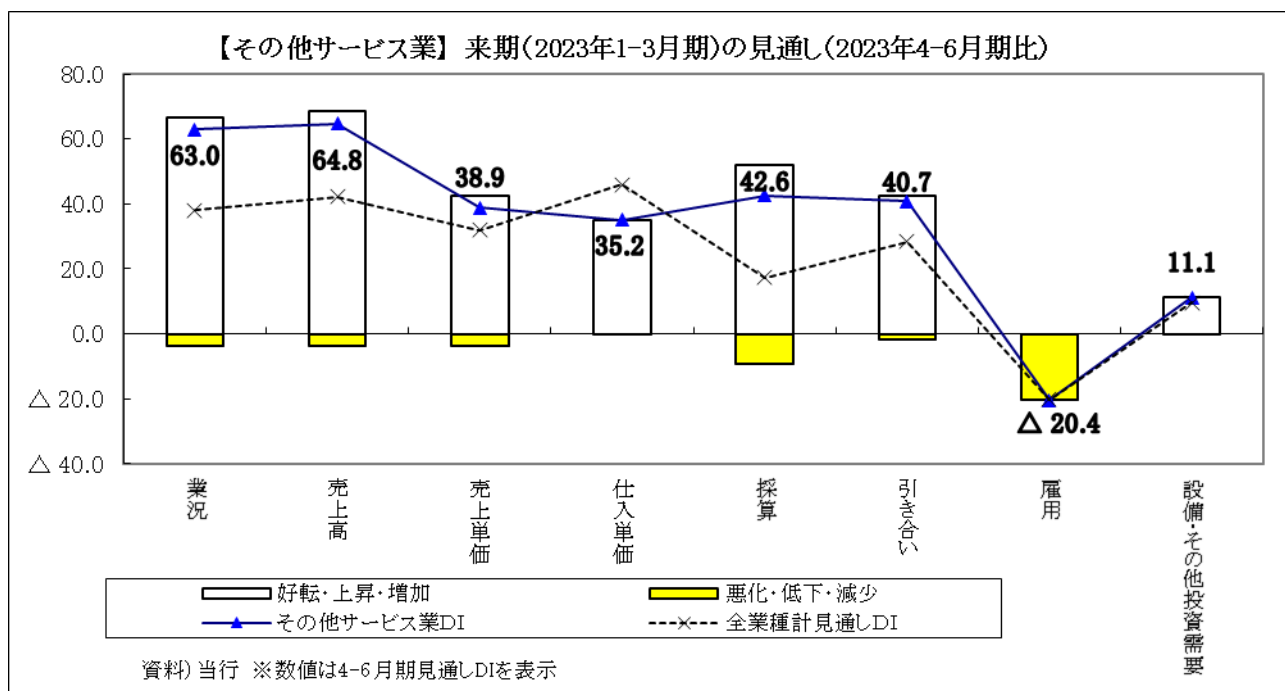


## 8. その他サービス業（ホテル、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育など）

- 当期の業況 DI(前年同期比)は **72.2** となりました。感染状況の落ち着きや観光客増加、人流活発化の影響などから売上高(75.9)や採算(51.9)、引き合い(51.9)などで業況改善がみられます。一方雇用(△33.3)においては、コロナウイルスの影響で離職があったなか、需要増加に対し人員確保ができない事業者がみられます。

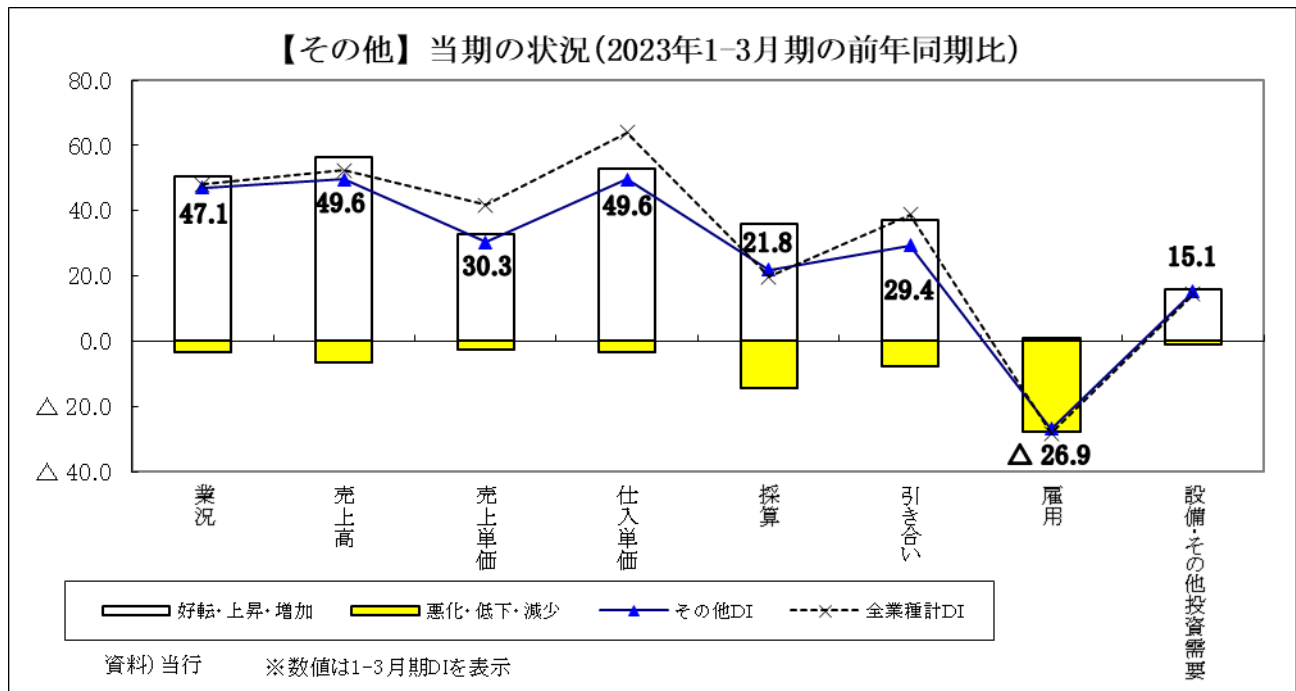


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は **63.0** となり、業況改善の動きが見込まれます。コロナウイルスの影響が和らぐもと GW や夏場前の観光客増加などから、売上高(64.8)や採算(42.6)、引き合い(40.7)などでポイントが高くなっています。雇用(△20.4)は、特に観光関連事業者において、不足感が続く見通しとなっています。

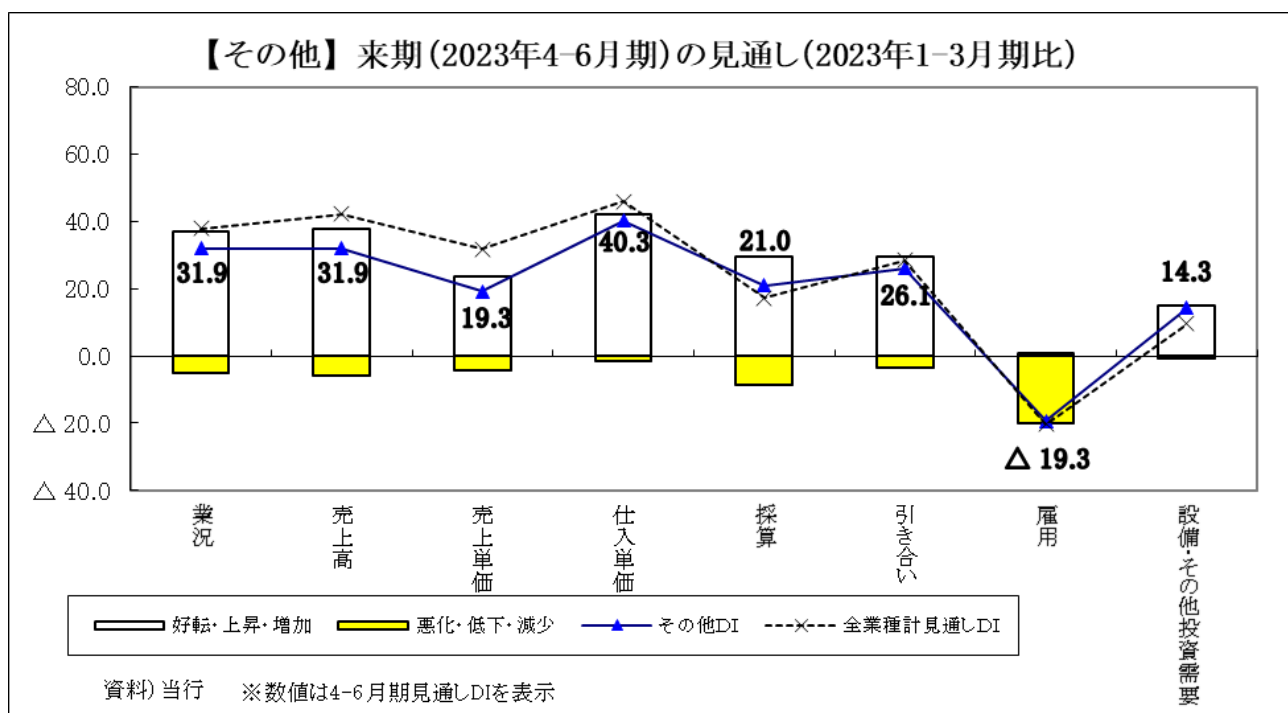


## 9. その他（不動産、運輸業〔バス・タクシー等〕、物品賃貸業〔レンタカー等〕、専門・技術サービス等）

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は **47.1** となり、業況の改善がみられます。運輸業(バス・タクシー等)では、コロナウイルスの影響が和らぐもと、人流・物流回復などから改善がみられます。雇用(△26.9)は、運輸業(バス・タクシー等)やレンタカー業、専門・技術サービス業などで不足感がみられます。



- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は **31.9** となり、業況改善の動きが見込まれます。コロナウイルスの影響が和らぎ経済活動が正常化に向かう中で、改善を見込む事業者がみられます。雇用(△19.3)は不足感が続く見通しとなっています。

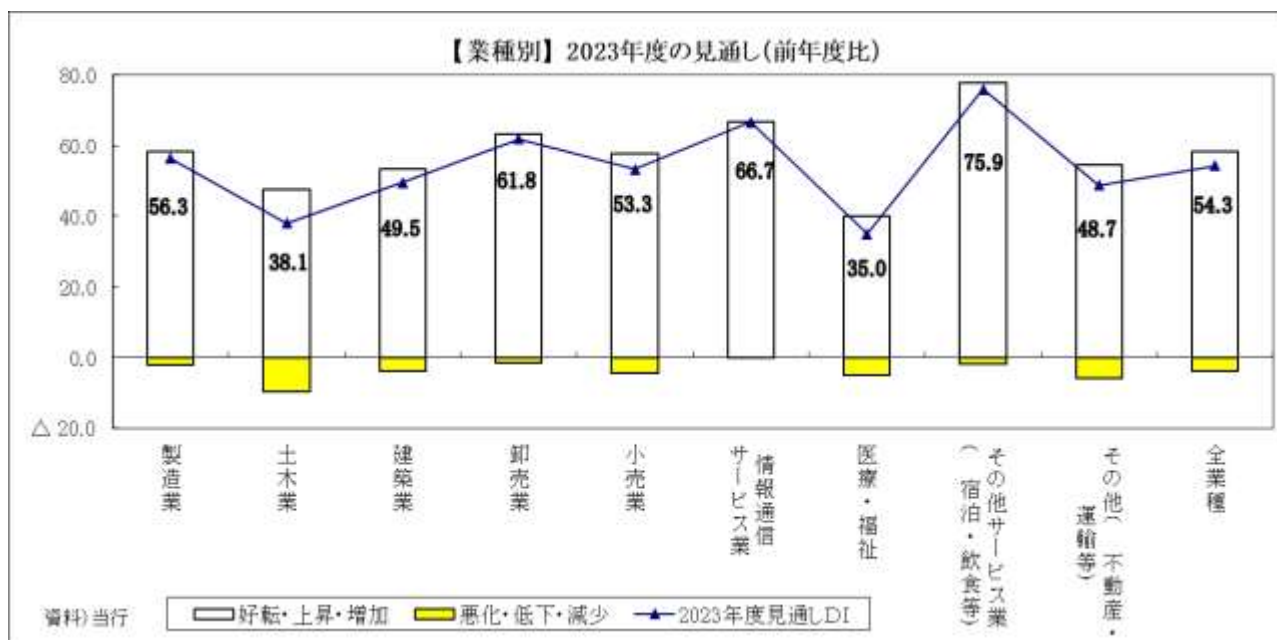




#### IV. 調査結果 2023 年度の見通し D I (2022 年度比)

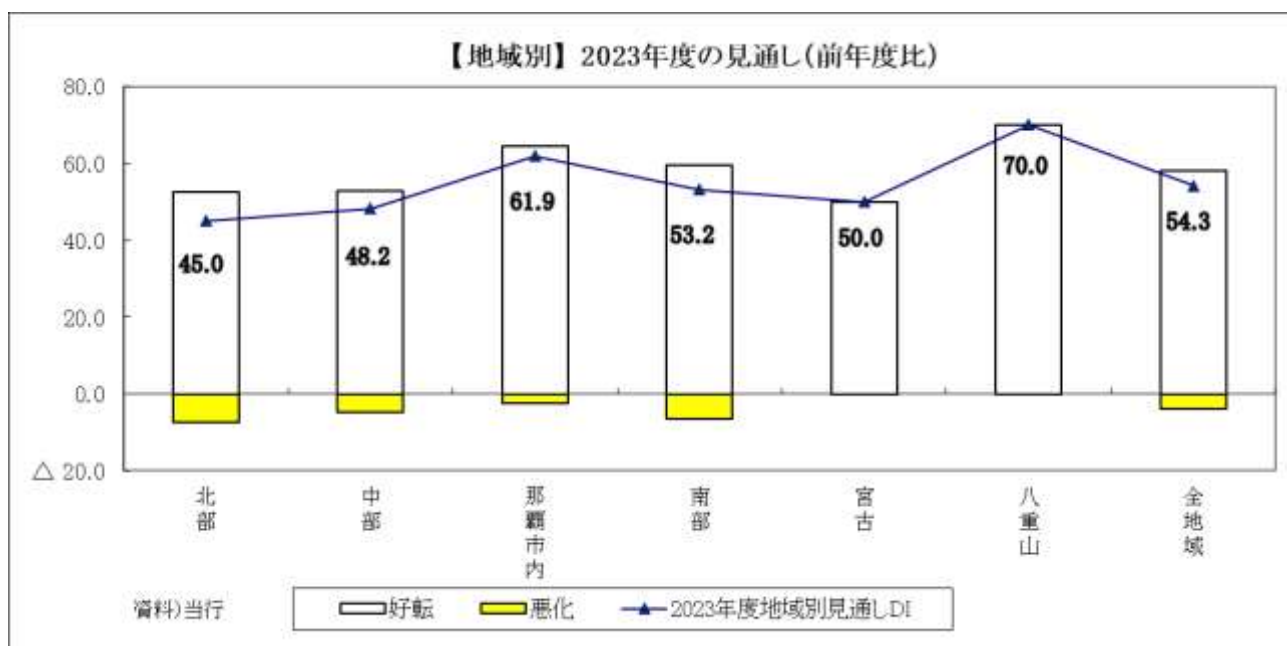
##### 1. 業種別見通し

- 2023 年度業種別見通しは 54.3 となり、業況改善の動きが見込まれます。コロナウイルス感染の影響が和らぐもと、その他サービス業(宿泊・飲食等)をはじめ、全ての業種において2022 年度と比較して業況の改善が見込まれています。



##### 2. 地域別見通し

- 2023 年度地域別見通しは、八重山地区(70.0)や那覇市内(61.9)など、全地域で業況の改善の動きが見込まれます。八重山地区では観光需要の高まりなどからポイントが高くなっています。一方、北部地区は物価上昇や物流費上昇を懸念する事業者がみられ、他地域と比較しポイントは低くなっています。



#### IV. まとめ（総括）

##### ➤ 【当期の業況DI】

当期(2023年1-3月期)の業況DIは**48.0**(前年同期比)と6期連続のプラスとなりました。業種別では、全業種でプラスとなりました。ポイントの高い順に【その他サービス業(宿泊・飲食等)(72.2)】【情報通信サービス業(66.7)】【卸売業(53.9)】【小売業(48.9)】【その他(不動産・運輸等)(47.1)】【医療・福祉(45.0)】【建築業(43.7)】【製造業(35.4)】【土木業(14.3)】となっています。

その他サービス業(宿泊・飲食等)、卸売業、小売業、その他(不動産・運輸等):全体としてコロナウイルスの影響が和らぐもと、観光客を含めた人流活発化の影響などにより、業況改善がみられます。

情報通信サービス業:広告関連需要などの高まりがみられます。

医療・福祉:安定した医療・介護需要などから業況改善がみられます。

製造業:コロナウイルスの影響が和らぎ改善がみられる一方、仕入価格やエネルギーコスト上昇により採算面に弱さがみられます。

建築業、土木業:安定した公共・民間工事の受注から改善がみられる一方、仕入価格上昇を工事金額へ転嫁する動きが十分でなく、採算面に弱さがみられます。

全体としては、コロナウイルスの影響が和らぐもと、業況の改善がみられます。一方、仕入価格やエネルギーコスト上昇の影響が大きい業種や事業者に弱さがみられます。雇用においては、全業種に不足感がみられます。

##### ➤ 【来期の見通し業況DI】

来期(2023年4-6月期)の見通し業況DIは**38.0**(当期比)となり、全業種にて業況改善の動きが見込まれます。ポイントの高い順に、【その他サービス業(宿泊・飲食等)(63.0)】【卸売業(48.7)】【製造業(43.8)】【小売業(40.0)】【情報通信サービス業(33.3)】【その他(不動産・運輸等)(31.6)】【建築業(28.2)】【医療・福祉(20.0)】【土木業(19.0)】となっています。

その他サービス業(宿泊・飲食等)、卸売業、小売業、その他(不動産・運輸等):全体としてコロナウイルスの影響が和らぎ、経済活動が活発化する期待感などから、業況改善の動きが見込まれます。

製造業:需要増加に加え価格転嫁の進行や円安の落ち着きなどにより、業況改善の動きが見込まれます。

情報通信サービス業:広告関連需要などの継続期待があります。

医療・福祉:医療・介護需要の安定した推移などから、他業種と比較しポイントが低くなっています。

土木業・建築業:公共工事の落ち着きや資材高騰の懸念などから、他業種と比較しポイントが低くなっています。

来期の見通し業況DIについて、全体としてはコロナウイルスの影響が和らぎ経済活動が活発化する期待感などから、業況改善の動きが見込まれます。一方、エネルギーコスト上昇の懸念や人材不足感の高まりがあるため、これらが業況に与える影響を注視する必要があります。

##### ➤ 【2023年度の見通し業況DI】

2023年度業種別見通しは**54.3**となり、全業種にて業況改善の動きが見込まれます。仕入価格やエネルギーコスト上昇、人材不足などの懸念はあるものの、コロナウイルスの影響が和らぐもと、経済活動が活発化する期待があります。